

アルジェリア政治・経済月例報告  
(2016年1月)

平成28年2月  
在アルジェリア日本国大使館

1. 内政

● 憲法改正案の閣議決定・憲法評議会への送付

5日、ウーヤヒヤ大統領府官房長が記者会見を開催、憲法改正草案を提示し、ベルベル語の公用語化、大統領職の2期任期制限、議会多数派との協議による大統領による首相任命等の主要改正点につき説明した。11日、ブーテフリカ大統領の主宰する閣議にて同改正案が可決されて憲法評議会での審議に付し、同評議会は28日、同改正案が社会の一般原則、国民の権利と自由及び統治・憲法機構間の基本的バランスに抵触しないとの判断を示し、議会の議決のみの改正案採択が決定した。

● ベンサラ国民評議会議長の再任

10日、国民評議会（上院）の会合が開催され、全会一致でベンサラ国民評議会議長の再任が決定した。同日、大統領指名改選議員の内17名（内4名が新議員）が正式に議員となった（残り7名の議員は2月1日に承認された）。なお、26日に新上院事務局、31日には新たなメンバーからなる9つの新委員会が発足した。

● DRSの解体報道

報道によれば、20日、ブーテフリカ大統領は、当国情報安全庁（DRS）を解体し、大統領府傘下におく大統領令に署名した。同措置により、DRSに代わり、大統領府に、国内治安、対外安全及び技術という3つの部からなるDSS（Direction des Services de Securite:治安サービス局）が設置され、タルターグ将軍が、大統領付治安問題担当顧問（Ministre conseiller du President en charge des affaires de securite）としてこれら3局を統括する。また、30日のウーヤヒヤRND党首代行兼大統領府官房長の発言によれば、これら3局は「総局（Direction generale）」となり、タルターグ氏がこれら大統領府直轄3総局を調整する由。

2. 外交

● サウジとの関係

サウジによるイランとの断交宣言を受けて、4日、外務省は、2つの兄弟国間の難しい関係が悪化していることに大きな遺憾を表明し、両国の政治指導者に対して自制するよう切に求める声明を発表した。また、一部報道によれば、1月後半にムハンマド皇太子兼内相がベシヤール県で休暇（狩り）を楽しんでいたが、29日に東部州アルアフサーで発生したテロ事件を受けて一時帰国した。その後再度アルジェリアに戻り、2月3日にはブーテフリカ大統領と会談を行った。

#### ● マリ、リビアへの仲介努力

17日、アルジェでラマムラ外相とジョップ・マリ外相の主宰する第10回両国戦略協議が開催されると共に、18日には、マリ和平・和解合意のフォローアップ委員会と、同委員会メンバー・ハイレベル協議という2つの会合が行われた。

リビアに関しては、20日、外務省が統一政府の形成を歓迎する声明を発表した。その後、25日、統一政府の首相に任命されたサッラージュ首相候補がアルジェを訪問、ブーテフリカ大統領、セラル首相とそれぞれ会談し（メサヘル・マグレブ・AU・アラブ連盟担当相が同席）、今次訪問がアルジェリアのリビア全国民が合意する政治的解決への努力の一環であると述べた。また、2月1日には、コブラー国連特使がアルジェを訪問しメサヘル大臣と会談、同特使はアルジェリアのリビアに対する役割を賞賛した。

#### ● 仏によるイナメナス事件捜査の開始

20日付当地紙によれば、イナメナスの事件から3年後、ベルモフタールにより殺害された外国人のうちの唯一の仏人であるヤン・デジュの家族からの要請により、パリ検事局は過失致死の疑いによる調査を開始した。仏人被害者の姉妹は、2014年9月から2015年2月まで英国で行われた調査結果も踏まえ、昨年11月に訴えを提起。英国の捜査では、BPが資金的理由からイナメナスのサイトにおいて安全面で欠陥があったとされている。今後、パリの判事は、BP他が過失致死で追求し得るのか否か決定するために証拠調べを進める。

### 3. 治安

#### ● ワガドゥグにおける襲撃テロ

15日、ブルキナファソの首都ワガドゥグにおいてホテル襲撃事件が発生した。報道によれば、AQIMが犯行声明を発出し、AQIMに所属するムラビトゥーン部隊の3名のジハーディストがスプレンドイド・ホテル（Splendide

Hotel) 襲撃し、30人の十字軍兵士(ママ)を殺害した。また、17日に発表された第2の犯行声明では、3名の実行犯の氏名と写真を公表し、地域で介入を続ける仏とその同盟者に対して更なる攻撃を警告した。

#### ● ISアルジェリア州による合流呼びかけ

報道によれば、21日、ISアルジェリア州は、インターネット上のサイトにおいて、アルジェリアの青年に対して、同州に合流し、国内における国軍兵舎や警察署を標的としたテロ攻撃に参加するよう呼びかけた。また、同ビデオでは、AQIMがシーア派や西側諸国と陰で結びついていると非難して、両者間に激しい争いがあることを示した。

#### ● ガイド・サラ国軍参謀総長へのテロ未遂

一部報道によれば、1月19日午後、リビア国境に近いエル・ウェッド地区でアルジェリア国軍参謀本部の17名に対するテロ未遂があった模様。サラ軍参謀総長及びシェリフ將軍を含む軍幹部が搭乗するはずのヘリコプターに爆弾が仕掛けられていたものの、乗客が搭乗する前に爆弾が爆発した由。真偽の程は不明。

#### ● アイン・デフラ県でのテロ掃討作戦

国防省の発表によれば、1月29日、軍はテロ対策の一環で、アイン・デフラ県南東部ウェッド・ジェマア地区のメデア県との県境に近い場所で掃討作戦を行い、テロリスト4人を殺害し、カラシニコフ自動小銃3丁、装填された弾筒6個、手榴弾3個、双眼鏡2個、大量の備蓄品等を押収した。殺害された4名は、昨年7月に同県で軍人9人を殺害した犯人と同じグループ(AQIM)であった由。

## 4. 経済

### ● 2016年予算法

3日、政府は2016年予算法について記載する官報第72号を公布した。予算は、石油が1バレル37ドル、為替が1ドル98アルジェリアン・ディナール(DA)の想定で編成された。主要な指標は以下のとおり。

—成長率(非炭化水素部門) 4.6%

—インフレ率 4%

—歳出 7兆9,841億DA(対前年比9%減)

—歳入 4兆7,474億DA(対前年比4.3%減)

#### ●輸入ライセンス適用品目の公布

13日、商務省は、輸入ライセンスの適用品目を定めるコミュニケを公布した。同コミュニケによると、自動車に関して、「10人以上の人員（運転手を含む）の輸送用の自動車」、「乗用自動車その他の自動車（ステーションワゴン及びレーシングカーを含み、主として人員の輸送用に設計したものに限る）」及び「貨物自動車」に適用し、それぞれの品目のうち「ノックダウンのもの」を適用除外とし、輸入枠は15万2,000台に設定された。その他では、グレイポートランドセメント」、「鉄筋（節、リブ、溝その他異形を圧延工程においてつけたもの及び圧延後ねじったもの）」にも適用し、それぞれ輸入枠を150万トン、200万トンとした。適用品目の輸入を希望する販売者は1月14日から2月3日までに輸入ライセンス申請を行う必要があり、また、適用品目は今後追加される可能性がある。

#### ● 中国との港湾プロジェクト署名

17日、港湾サービス国営グループと中国企業2社はティバザ県のシェルシエルに予定される新たな中央商業港の建設プロジェクトに係る合意に署名。同合意によれば、同グループと中国のCSCEC(China State Construction Engineering Corporation: 中国建築国際集団)及びCHEC(China Harbour Engineering Company: 中国港湾工程有限責任公司)からなるアルジェリア投資法に基づく合弁企業が本年3月末までに設立される。プロジェクト総額は33億ドルと推定され、中国からの長期融資で資金手当される。新港全体は、7年かけて実現されるが、4年後には中国企業(Shanghai Port)の参加をもってサービスが開始される予定。新港は、喫水20mで、年間650万台のコンテナ、2570万トンの一般貨物を処理し得る埠頭23カ所を有する。楊在アルジェリア中国大使は、本件プロジェクトに係る融資につき、アルジェリアから国家間での正式な要請はないが、他方、合弁企業は中国の銀行から融資を求めることになるであろうと述べた。

### 5. 我が国との関係

#### ● 藤原大使のサアダニFNL党首との会談

18日、藤原大使は、FNL党本部を往訪し、サアダニFNL党首と会談した。同会談には、ヤヒヤ・ハサーニが同席。両者は、両国関係、及びその強化の方策を巡って協議した。

#### ● 藤原大使のタマンラセット訪問

19日～22日、藤原大使は、タマンラセット県タマンラセット市を往訪し、

シルミ・タマンラセット県知事、エル・アラウィ・タマンラセット商工会議所  
 会長、ベカディ・タマンラセット大学学長等と会談し、また、ニジェール難民  
 キャンプの視察した際にはベンハビレス・アルジェリア赤新月社代表等と会談  
 を行った。

<アルジェリア要人の外国訪問>

日付	国	氏名・肩書き	目的
1月12日	ドイツ	セラル首相	メルケル首相、ガウク連邦大統領と会談
1月12日	ナミビア	メサヘル・マグレブ・AU・アラブ連盟大臣	第10回C10サミットに出席
1月18日	イギリス	ベンゲブリ国民協力大臣	世界教育フォーラムに出席
1月18日	ウガンダ	メサヘル・マグレブ・AU・アラブ連盟大臣	ムセベニ大統領と会談等
1月21日	インド	ヘブリ・エネルギー大臣	第4回インド・アフリカ炭化水素資源担当閣僚会議に出席
1月21日	スイス	ブシュアレブ産業・鉱業大臣	ダボス会議に出席
1月30日	エチオピア	セラル首相、ラマムラ外務大臣	第26回AU首脳会議他に出席

<外国要人のアルジェリア訪問>

日付	国	氏名・肩書き	目的
1月10日	パレスチナ	エレカット・パレスチナ解放機構交渉部代表	ブーテフリカ大統領、ラマムラ外務大臣と会談等
1月10日	イギリス	リスビー経済協力担当首相特使	セラル首相、ブシュアレブ産業・鉱業大臣と会談等
1月10日	中国	呉外務大臣特使	メサヘル・マグレブ・AU・アラブ連盟大臣と会談等

1月18日	フランス	ファルコン警察庁長官	ハメル国家警察庁長官と会談等
1月19日	マルタ	コレイロ・プレカ大統領	ブーテフリカ大統領、セラル首相、ベンサラ国民評議会議長と会談等
1月19日	南アフリカ	マトジラ外務次官	ラマムラ外務大臣、ベレクシ外務次官と会談等
1月19日	EU	フェルナンデス・サヘル地域担当特使	ラマムラ外務大臣と会談等
1月25日	リビア	セラジ大統領府長官	ブーテフリカ大統領、セラル首相と会談等
1月26日	ナイジェリア	オバサンジョ元大統領	ブーテフリカ大統領と会談等

(了)